

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(原子炉格納施設)

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.2	基本設計方針に合わせ、記載を適正化しました。(下線部追記) <修正後> また、格納容器フィルタベント系は、排気中に含まれる可燃性ガスによる爆発を防ぐため、 <u>可搬式窒素供給装置</u> により、系統内を不活性ガス(窒素ガス)で置換した状態で待機させ、...	2022/1/13	
2	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.3	基本設計方針に合わせ、記載を適正化しました。(下線部追記) <修正後> また、格納容器フィルタベント系は、排気中に含まれる可燃性ガスによる爆発を防止するため、 <u>可搬式窒素供給装置</u> により、系統内を不活性ガス(窒素ガス)で置換した状態で待機させ、...	2022/1/13	
3	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.4	基本設計方針に合わせ、記載を適正化しました。(下線部追記) <修正後> ...排気中に含まれる水素ガス及び酸素ガスによる水素爆発を防止するため、 <u>可搬式窒素供給装置</u> により、系統内を不活性ガス(窒素ガス)で置換した状態で待機させ、...	2022/1/13	
4	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.4	基本設計方針に合わせ、記載を適正化しました。(下線部参照) 旧:...原子炉建物放水設備は、大型送水ポンプ車により海水を取水し、放水砲から原子炉建物へ放水することで発電所外への放射性物質の拡散を抑制できる設計とし、... 新:...原子炉建物放水設備は、大型送水ポンプ車により海水を取水し、放水砲から原子炉建物へ放水することで発電所外への放射性物質の拡散を抑制する設計とし、...	2022/1/13	
5	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.4	誤記を修正しました。(下線部参照) 旧:また、海洋拡散抑制設備は、シルトフェンスを汚染水が発電所から海洋に流出する2号炉放水接合槽及び輪谷湾に... 新:また、海洋拡散抑制設備は、シルトフェンスを汚染水が発電所から海洋に流出する2号機放水接合槽及び輪谷湾に...	2022/1/13	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
6	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.7	記載の充実による適正化を図りました。(下線部参照) 旧:(2) 運転状態Ⅱ d. <u>原子炉給水制御系の故障</u> f. <u>全給水流量の喪失</u> (3) 運転状態Ⅲ a. <u>過大圧力</u> (4) 運転状態Ⅳ a. <u>冷却材喪失</u> 新:(2) 運転状態Ⅱ d. <u>給水制御系の故障</u> f. <u>全給水流量喪失</u> (3) 運転状態Ⅲ a. <u>原子炉圧力容器の過大圧力</u> (4) 運転状態Ⅳ a. <u>冷却材喪失事故</u>	2022/1/13	
7	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.7	記載の充実による適正化を図りました。(下線部参照) 旧:運転状態Ⅱの各事象, 及び運転状態Ⅲのa. <u>過大圧力の事象は逃がし安全弁作動が考えられるが, …</u> 新:運転状態Ⅱの各事象, 及び運転状態Ⅲのa. <u>原子炉圧力容器の過大圧力の事象は逃がし安全弁の作動が考えられるが, …</u>	2022/1/13	
8	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.7	設計時に考慮する最も厳しい荷重を具体的に記載し, 適正化を図りました。(下線部参照) 旧:…原子炉格納施設の設計に当たっては, 最も厳しい <u>運転状態Ⅱのc. 主蒸気隔離弁の閉鎖による事象</u> を考慮する。 新:…原子炉格納施設の設計に当たっては, 最も厳しい <u>逃がし安全弁作動時の荷重</u> を考慮する。	2022/1/13	
9	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.10	記載の充実による適正化を図りました。(下線部参照) 旧:…真空破壊装置を設けることによって過大な外圧が作用しないように, 原子炉格納容器を防護する設計としている。ドライウエル及びサブプレッションチェンバの外面に… 新:…真空破壊装置を設けることによって過大な外圧が作用しないように, 原子炉格納容器を防護する設計としている。したがって, <u>ドライウエル及びサブプレッションチェンバの外面に…</u>	2022/1/13	
10	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.11	島根2号機は, 昭和45年版の省令第81号を適用しているため, 下線部を削除しました。 旧:…「電気工作物の溶接に関する技術基準を定める省令」(昭和45年通商産業省令第81号, <u>昭和60年10月改正</u> )(以下「省令第81号」という。)に基づき, … 新:…「電気工作物の溶接に関する技術基準を定める省令」(昭和45年通商産業省令第81号)(以下「省令第81号」という。)に基づき, …	2022/1/13	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
11	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.11	実施する試験名を具体的に記載し、適正化しました。(下線部参照) 旧: (a) 原子炉格納容器の材料は、告示第501号第20条第3項に規定する破壊靱性試験を行い、・・・ (b) 原子炉格納容器の溶接部は、省令第81号第28条第2項に規定する試験板について第26条の規定に基づき、機械試験を行い、・・・ 新: (a) 原子炉格納容器の材料は、告示第501号第20条第3項に規定する衝撃試験を行い、・・・ (b) 原子炉格納容器の溶接部は、省令第81号第28条第2項に規定する試験板について第26条の規定に基づき、衝撃試験を行い、・・・	2022/1/13	
12	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.17	図4-3(1/7)について、主蒸気隔離弁漏洩制御系の撤去工事計画を反映し、記載を適正化しました。  旧: MV228-1A~D, V228-700A~D, EV228-700A~D 新: MV202-10A~D, V202-800A~D, EV202-800A~D  旧: ①主蒸気隔離弁漏洩制御系 新: ①主蒸気系  旧: X-212B, MV228-14 新: (削除)  旧: MV228-5 新: MV202-11	2022/1/13	
13	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.19	図4-3(3/7)について、誤記を修正しました。 旧: V223-2 新: AV223-2	2022/1/13	
14	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.20	図4-3(4/7)について、誤記を修正しました。 旧: (なし) 新: V217-830, SV217-831  旧: ②計装用圧縮空気系 新: ②窒素ガス制御系  旧: SV277-737A,B,C,D,E,F,G,H 新: SV217-737B,A,C,D,G,F,E,H  旧: 格納容器漏えい試験装置, X-270 新: (削除)	2022/1/13	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
15	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.21	図4-3(5/7)について、補正後の設計進捗に伴い、貫通部内の管番号の変更を反映し、記載を適正化しました。 旧: X-183(b), 183(c) 新: X-183(f), 183(e) また、工事計画時は複数の用途で使用することを想定していたが、補正後の設計進捗に伴い、当該貫通部は単独で使用することとしたことから、記載を適正化しました。 旧: X-212B(a) 新: X-212B  また、誤記を修正しました。 旧: ③プロセス放射モニタ系 新: ③プロセス放射線モニタ系	2022/1/13	
16	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.22	図4-3(6/7)について、設計変更による貫通部内の管番号の変更を反映し、記載を適正化しました。 旧: X-141B(a) 新: X-141B(f)	2022/1/13	
17	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.23	図4-3(7/7)について、誤記を修正しました。 旧: ⑤格納容器漏洩試験, X-102B, 103B 新: (削除)	2022/1/13	
18	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.38	重大事故等時の原子炉格納容器の破損防止において想定する評価事故シーケンスにおいてドライウェル水位が形成されるため、記載の充実による適正化を図りました。(下線部参照) 旧: 重大事故等時は原子炉格納容器外部を水源とする格納容器スプレイにより、サプレッションプール水位が上昇する。 新: 重大事故等時は原子炉格納容器外部を水源とする格納容器代替スプレイにより、サプレッションプール水位が上昇し、また、ドライウェル水位が形成される。	2022/1/13	
19	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.38	重大事故等時の原子炉格納容器の破損防止において想定する評価事故シーケンスにおいてドライウェル水位が形成されるため、記載の充実による適正化を図りました。(下線部参照) 旧: ……霧囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)についてサプレッションプール水位を評価した結果、最高値は約4.9mとなる。図4-11にサプレッションプール水位の変化を示す。 新: ……霧囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)についてサプレッションプール水位及びドライウェル水位を評価した結果、最高値はそれぞれ約4.9m及び約1.0mとなる。図4-11にサプレッションプール水位の変化、図4-12にドライウェル水位の変化を示す。	2022/1/13	
20	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.38	誤記を修正しました。(下線部参照) 旧: 重大事故対応上は、サプレッションプール水位が通常水位+約1.3mに到達した場合に格納容器スプレイを停止するが、… 新: 重大事故対応上は、サプレッションプール水位が通常水位+約1.3mに到達した場合に格納容器代替スプレイを停止するが、…	2022/1/13	
21	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.39	資料内の整合を図るため、記載を適正化しました。(下線部追記) <修正後> 図4-11 重大事故等時のサプレッションプール <del>の</del> 水位の変化*	2022/1/13	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
22	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.39	重大事故等時の原子炉格納容器の破損防止において想定する評価事故シーケンスにおいてドライウェル水位が形成されるため、記載の充実による適正化を図りました。(下図の追加) 図4-12 重大事故等時のドライウェル水位の変化*	2022/1/13	
23	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.42	基本設計方針に合わせ、記載を適正化しました。(下線部追記) <修正後> 格納容器フィルタベント系は、排気中に含まれる可燃性ガスによる爆発を防止するため、 <u>可搬式窒素供給装置</u> により、系統内を不活性ガス(窒素ガス)で置換した状態で待機させ、...	2022/1/13	
24	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.43	誤記を修正しました。(下線部参照) 旧:・・・原子炉格納容器下部にあらかじめ十分な水位を確保し、落下した熔融炉心を冷却が可能な設計とする。 新:・・・原子炉格納容器下部にあらかじめ十分な水位を確保し、落下した熔融炉心 <u>の</u> 冷却が可能な設計とする。	2022/1/13	
25	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.46	前段の文章と同様、原子炉建物放水設備のことを説明していることから、記載の適正化を図りました。(下線部削除) 旧:また、原子炉建物周辺における航空機衝突による航空機燃料火災に対応するための重大事故等対処設備として使用する原子炉建物放水設備は、大型送水ポンプ車により海水を泡消火薬剤と混合しながらホースを経由して放水砲から原子炉建物周辺へ放水できる設計とする。 新:また、原子炉建物周辺における航空機衝突による航空機燃料火災に対応するため、大型送水ポンプ車により海水を泡消火薬剤と混合しながらホースを経由して放水砲から原子炉建物周辺へ放水できる設計とする。	2022/1/13	
26	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.46	記載の充実による適正化を図りました。(下線部参照) 旧:・・・シルトフェンスは、汚染水が発電所から海洋に流出する2箇所(2号機放水接合槽及び輪谷湾)に設置できる設計とする。 新:・・・シルトフェンスは、汚染水が発電所から海洋に流出する2号機放水接合槽及び輪谷湾に設置できる設計とし、輪谷湾は可搬型である小型船舶により設置できる設計とする。	2022/1/13	
27	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.46	誤記を修正しました。(下線部参照) 旧:一方で、以下の事故シーケンスの状態は設計基準事故時の範囲を逸脱しており、・・・ 新:一方で、以下の重要事故シーケンス等の状態は設計基準事故時の範囲を逸脱しており、・・・	2022/1/13	
28	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.46	サプレッションプール水の温度上昇挙動が同等であるため、下線部のとおり修正しました。 旧:崩壊熱除去機能喪失(残留熱除去系が故障した場合)時のプール水の温度上昇時 新:全交流動力電源喪失時のプール水の温度上昇時	2022/1/13	
29	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.56	前段で読み替えを行っていることから、記載の適正化を図りました。(下線部参照) 旧:原子炉格納容器バウンダリ構成部の重大事故等時における放射性物質の閉じ込め機能喪失の要因(以下「機能喪失要因」という。)として、・・・ 新:原子炉格納容器バウンダリ構成部の重大事故等時における機能喪失要因として、・・・	2022/1/13	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
30	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.57	誤記を修正しました。(下線部参照) 旧:各評価対象機器の評価方法の分類を図6-2に, 各評価対象機器の詳細な評価方法を表6-1に示す。 新:各評価対象機器の評価方法の分類を図6-2に, 各評価対象機器の詳細な評価方法を表6-2に示す。	2022/1/13	
31	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.68	誤記を修正しました。(下線部削除) 旧:…配管貫通部(接続配管, スリーブ, セーフエンド, ベローズ) 新:…配管貫通部(接続配管, スリーブ, セーフエンド, ベローズ)	2022/1/13	
32	NS2-添1-064	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.71	記載ルールに基づき, 適正化を図りました。(下線部参照) 旧:…耐震評価にて考慮する許容応力は今回の評価で考慮した許容応力の制限内であり, 更に… 新:…耐震評価にて考慮する許容応力は今回の評価で考慮した許容応力の制限内であり, さらに…	2022/1/13	
33	NS2-添1-065	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.27	記載の充実による適正化を図りました。(下線部参照) (旧)なし (新)改良EPDM製シール材による重大事故等時の格納容器閉じ込め機能を確認するために, 圧縮永久ひずみ試験結果をもとに許容開口量を評価し, 重大事故等時における扉板部の開口量と比較することで格納容器閉じ込め機能の評価する。	2022/1/31	
34	NS2-添1-065	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.29	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)(1) 扉のシール部 (新)(1) 扉のシール材	2022/1/31	
35	NS2-添1-065	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.33	同じ内開き式ハッチの機器搬入口との記載の統一の観点から, 適正化を図りました。(下線部参照) (旧)したがって, 逃がし安全弁搬出ハッチ(円筒胴)の機能喪失要因は, 高温状態で内圧を受けることによる過度な塑性変形に伴う… (新)したがって, 逃がし安全弁搬出ハッチ(円筒胴)の機能喪失要因は, 原子炉格納容器内圧による過度な塑性変形に伴う…	2022/1/31	
36	NS2-添1-065	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.33	同じ内開き式ハッチの機器搬入口との記載の統一の観点から, 適正化を図りました。(下線部参照) (旧)…高温劣化によるシール機能の低下が想定される。 逃がし安全弁搬出ハッチ(鏡板)の設計時に考慮される機能喪失要因は, … (新)…高温劣化によるシール機能の低下が考えられる。 また, 逃がし安全弁搬出ハッチ(鏡板)の設計時に考慮される機能喪失要因は, …	2022/1/31	
37	NS2-添1-065	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.36	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)6.3 評価結果まとめ (新)6.3 評価結果のまとめ	2022/1/31	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
38	NS2-添1-065	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.37	同じ内圧を受けるドライウェル主フランジとの記載の統一の観点から、適正化を図りました。(下線部参照) (旧)したがって、制御棒駆動機構搬出ハッチの機能喪失要因は、 <u>高温状態で内圧を受け、過度な塑性変形に伴う延性破壊が想定される。</u> <u>また、シール部については、高温状態で内圧を受け、シール部が変形することによる開口及びシール材の高温劣化によるシール機能の低下が想定される。</u> (新)したがって、制御棒駆動機構搬出ハッチの機能喪失要因は、 <u>原子炉格納容器内圧による過度な塑性変形に伴う延性破壊、また、フランジ部の変形及びシール材の高温劣化によるシール機能の低下が考えられる。</u>	2022/1/31	
39	NS2-添1-065	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.46	評価内容に合わせ、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)平板類のうち、平板、穴あき平板、フランジ、フルードヘッドは、・・・ (新)平板類のうち、平板、穴あき平板、フランジ、ボルト締め平板及びフルードヘッドは、・・・	2022/1/31	
40	NS2-添1-065	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.46	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)また、シール部については、 <u>高温状態で内圧を受け、フランジ部が変形することによる開口及びシール材の高温劣化によるシール機能の低下が想定される。更に、・・・</u> (新)また、シール部については、 <u>高温状態で内圧を受け、フランジ部が変形することによる開口及びシール材の高温劣化によるシール機能の低下が想定される。さらに、・・・</u>	2022/1/31	
41	NS2-添1-065	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.59	記載の充実による適正化を図りました。(下線部参照) (旧)なし (新) <u>試験結果より、高圧用モジュールのEPゴムシール部は194℃/62時間、低圧用モジュールの樹脂シール部は137℃/62時間の熱劣化に対して、漏えいがないことが確認できている。</u> <u>また、試験結果の二次シール部の温度(高圧用44℃、低圧用68℃)に対して、余裕を考慮し保守的に100℃と想定した場合においても、一次シール部の熱劣化条件(高圧用194℃/62時間、低圧用137℃/62時間)に対してアレニウス式により活性化エネルギー(15kcal/mol)を用いて換算評価を行うと、高圧用3,640時間、低圧用384時間となり、168時間を上回った。</u>	2022/1/31	
42	NS2-添1-065	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.59,61,63,64,70	資料全体で「漏えい」と「漏洩」が混在していることから、漏えいに記載を統一しました。	2022/1/31	
43	NS2-添1-065	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.61	記載の充実による適正化を図りました。(下線部追記) (旧)なし (新)また、 <u>放射線照射の影響については、エポキシ樹脂に800kGyの放射線照射を行った場合においても、放射線照射を行わなかった場合に比べ、シート部からの漏えい発生温度が著しく低くなることはなかった。</u>	2022/1/31	
44	NS2-添1-065	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.68	図2-1を適正化しました。	2022/1/31	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
45	NS2-添1-065	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.70	表2-3について、使用するガスケットメーカーの試験結果を記載することとしました。	2022/1/31	
46	NS2-添1-066	VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計	P.10	記載の充実による適正化を図りました。(下線部追記) (旧)水は存在しないものとして評価を行った。 (新)スリット部が非常に狭隘であることから、水は存在しないものとして評価を行った。	2022/2/7	
47	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.12	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)連結管 (新)連結管	2022/2/28	
48	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.25	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)図2-13示す。 (新)図2-13に示す。	2022/2/28	
49	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.27	マスキング範囲について、適正化しました。(表2-7中記載の水位について、マスキング範囲から除外)	2022/2/28	
50	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.41,47	設備の明確化のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)堂設充電器 (新)SA用115V系充電器	2022/2/28	
51	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.42	図書の用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)kPa程度 (新)kPa[gage]程度	2022/2/28	
52	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.46	表2-10中の記載について、用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)最大放射線量率 (新)最大線量当量率	2022/2/28	
53	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.47	同一記載内で回路名称と設備名称が混在しているため、設備名称に統一しました。(下線部参照) (旧)…系統待機時には非常用所内電気設備又は常用電源(外部電源)を受電している SA 母線 より受電しているが、より受電しているが、重大事故等時で非常用所内電気設備 および SA 母線 から受電できない場合には、… (新)…系統待機時には非常用所内電気設備又は代替所内電気設備より受電しているが、重大事故等時で非常用所内電気設備から受電できない場合には、…	2022/2/28	
54	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.48	図2-37中の記載について、設備名称統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)ベント弁(第1弁)、ベント弁(第1弁)、ベント弁(第2弁)、ベント弁(第2弁)、ベント弁(第3弁) (新)隔離弁(第1弁(ドライウェル側))、隔離弁(第1弁(サブレーションチェンバ側))、隔離弁(第2弁)、隔離弁(第2弁バイパス弁)、隔離弁(第3弁)	2022/2/28	



No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
55	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.49	図2-38中の記載について、誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)フィルタ装置廻り計装設備 (新)第1ベントフィルタスクラバ容器周り計装設備	2022/2/28	
56	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.55	排水設備について、サブプレッションチェンバへの移送に加えて、第1ベントフィルタスクラバ容器の水位が上限水位に到達すると判断した場合の水位調整に使用することから、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)ベント停止後の放射性物質を含んだスクラビング水を原子炉格納容器(サブプレッションチェンバ)へ移送するため… (新)第1ベントフィルタスクラバ容器の水位調整及びベント停止後の放射性物質を含んだスクラビング水を原子炉格納容器(サブプレッションチェンバ)へ移送するため…	2022/2/28	
57	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.55	記載の明確化のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…第1ベントフィルタ格納槽に漏えいした場合に、原子炉格納容器(サブプレッションチェンバ)に移送するため… (新)…第1ベントフィルタ格納槽に漏えいした場合に、 <u>漏えい水</u> を原子炉格納容器(サブプレッションチェンバ)に移送するため…	2022/2/28	
58	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.66	マスキング範囲について、適正化しました。(ほぼ静定した時の原子炉格納容器圧力100kPaについてマスキング範囲から除外)	2022/2/28	
59	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.67	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)試験装置には、 <u>実機に実機</u> に設置するものと… (新)試験装置には、 <u>実機</u> に設置するものと…	2022/2/28	
60	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.85	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)…よう素の捕捉によって吸着容量に達した場合には、ガス状放射性よう素は補足されずに系外に放出されることが考えられる。 (新)…よう素の <u>捕集</u> によって吸着容量に達した場合には、ガス状放射性よう素は捕集されずに系外に放出されることが考えられる。	2022/2/28	
61	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.105	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…MAAP解析に基づく水-ジルコニウム反応により発生する水素に加え… (新)…MAAP解析に基づく水-ジルコニウム反応により発生する水素 <u>ガス</u> に加え、	2022/2/28	
62	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.111	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)…不活性化されており、更に可燃性ガス濃度制御系によって… (新)…不活性化されており、 <u>さらに</u> 可燃性ガス濃度制御系によって…	2022/2/28	
63	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.133,147	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)ペDESTAL部、 <u>ペDESTAL内</u> (新) <u>原子炉格納容器下部</u>	2022/2/28	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
64	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.139	マスキング範囲について、適正化しました。(管理値1700mm~1900mmをマスキング範囲から除外)	2022/2/28	
65	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.141	記載の明確化のため、記載を適正化しました。	2022/2/28	
66	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.142	d.第1ベントフィルタスクラバ容器内発熱量にドライウエルベント時の評価条件を追記しました。また、マスキング範囲について適正化しました。(単位「kW」をマスキング範囲から除外)	2022/2/28	
67	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.143	表1-1について、第1ベントフィルタスクラバ容器内発熱量にドライウエルベント時の評価条件を追記しました。また*(注記)の記載位置を適正化しました。	2022/2/28	
69	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.148	薬品名称とイオン名称が混在していたため、記載を適正化しました。	2022/2/28	
70	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.148	記載の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・放射線分解の酸性物質生成で消費される塩基の量 ・ケーブルの熱分解による塩化水素で消費される塩基の量 (新)・放射線分解の酸性物質で消費される塩基の量 ・ケーブルの熱分解の塩化水素で消費される塩基の量	2022/2/28	
71	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.148	記載の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・放射線分解による酸性物質生成で消費される塩基の量 ・ケーブルの熱分解による塩化水素で消費される塩基の量 (新)・放射線分解の酸性物質で消費される塩基の量 ・ケーブルの熱分解の塩化水素で消費される塩基の量	2022/2/28	
72	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.150	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…窒素雰囲気に置かれることから、… (新)…窒素ガス雰囲気に置かれることから、…	2022/2/28	
73	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.152	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)表2-1 (新)表2-2	2022/2/28	
74	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.152	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)引用文献 (新)参考図書	2022/2/28	
75	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.154	誤記を訂正しました。(下線部追記) <修正後> (アインシュタインの粘度式の成立限界である容積分率 $2v_{0l}\%$ までを記載)	2022/2/28	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
76	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.156	記載の明確化のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…第1ベントフィルタスクラバ容器水位の上限を設定している。 (新)…スクラビング水の水位上限を設定している。	2022/2/28	
77	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.156	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…水位が上限水位となる前に排水する運用としている。 (新)…水位が上限水位となる前に排水する運用とする。	2022/2/28	
78	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.156	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)ドレン配管の閉塞が発生するおそれはないと言える。 (新)ドレン配管の閉塞が発生するおそれはない。	2022/2/28	
79	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.162,163	図1-2, 1-2, 1-3中記載の弁名称について、記載の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) 第1弁(ウェットウェルベントライン) 第1弁(ドライウェルベントライン) (新) 第1弁(サプレッションチェンバ側) 第1弁(ドライウェル側)	2022/2/28	
80	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.164	充実化のために、審査ガイドの年版を追記しました。(下線部参照) (旧)審査ガイド… (新)審査ガイド(令和3年6月23日原規技発第2106233号原子力規制委員会決定)…	2022/2/28	
81	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.164,180,181	充実化のために、評価時間の設定根拠に関する図を追加しました。(下線部参照) (旧)…及び評価時間を表1-1及び図1-1～図1-5に示す。 (新)…及び評価時間を表1-1及び図1-1～図1-5に示す。また、図1-6に各評価時間の設定根拠を示す。	2022/2/28	
82	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.164	充実化のために、評価点に関する記載を追記しました。(下線部参照) (旧)各作業の評価時間には、作業場所への往復時間を含める。 (新)各作業の評価時間には、作業場所への往復時間を含める。 <u>ベント実施前及び実施後における屋内及び屋外の各作業の被ばく評価に当たっては、各作業場所及び移動経路を代表とする地点を評価点とした。</u>	2022/2/28	
83	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.164	島根2号機は単号機申請であるため、想定シナリオに関する不要な記載を削除しました。  ・発災プラント: 島根原子力発電所第2号機	2022/2/28	
84	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.164,186	放射性物質の大気放出過程について、充実化のために、概略図を追加しました。(下線部参照) (旧)放射性物質の大気放出過程を図3-1～図3-4に示す。 (新)放射性物質の大気放出過程を図3-1～図3-4に示し、大気放出過程概略図を図3-5に示す。	2022/2/28	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
85	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.164	大気拡散評価の条件について、明確化のために、中央制御室の居住性に関する説明書との差異に関する記載を追記しました。(下線部参照) (旧)評価点を除き、… (新)評価点、 <u>着目方位</u> を除き、…	2022/2/28	
86	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.165	大気拡散評価の評価点について、記載の分かりやすさの観点及び誤記修正のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)屋内作業における評価点は、人力によるベント操作を行う作業地点として以下の場所とし、 <u>移動中(往路、復路)の評価点は、1階～3階において最も評価結果が厳しくなる原子炉建物付属棟3階の第2弁操作位置で代表した。</u> …屋外作業における評価点は、作業地点である2号機原子炉建物南側作業場所とし、 <u>移動中(往路、復路)…</u> (新)屋内作業における評価点は、人力によるベント操作を行う以下の作業地点とする。… <u>また、移動中(往路、復路)の評価点は第2弁操作位置で代表した。</u> 屋外作業における評価点は、作業地点である2号機原子炉建物南側作業場所とした。 <u>また、移動中(往路、復路)…</u>	2022/2/28	
87	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.165	弁名称について、記載の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・第1弁(ウェットウェルベントライン)操作位置… ・第1弁(ドライウェルベントライン)操作位置… (新)・第1弁(サブプレッションチェンバ側)操作位置… ・第1弁(ドライウェル側)操作位置…	2022/2/28	
88	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.166	原子炉建物内での作業における被ばく経路について、島根2号機は単号機申請であるため、不要な記載を削除しました。(下線部参照) (旧)なお、サブマージョンモデルでの計算に用いる空間容積は、 <u>2号機の第1弁、第2弁の作業エリアの…</u> (新)なお、サブマージョンモデルでの計算に用いる空間容積は、 <u>第1弁、第2弁の作業エリアの…</u>	2022/2/28	
89	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.167	原子炉建物内の被ばく評価における格納容器フィルタベント系の配管内からのガンマ線による被ばく経路について、誤記修正のため、記載を修正しました。(下線部参照) (旧)格納容器フィルタベント系の第1ベントフィルタスクラバ容器、 <u>第1ベントフィルタ銀ゼオライト容器及び屋外の配管内の放射性物質からのガンマ線による外部被ばくは、第1ベントフィルタ格納槽躯体厚による遮蔽が…</u> (新)格納容器フィルタベント系の第1ベントフィルタスクラバ容器及び第1ベントフィルタ銀ゼオライト容器並びに原子炉建物外の配管内の放射性物質からのガンマ線による外部被ばくは、 <u>第1ベントフィルタ格納槽躯体厚による遮蔽及び原子炉建物外壁が…</u>	2022/2/28	
90	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.171～173	「非常用ガス処理系排気管」又は「SGT排気管」について、設備名称の統一のため、記載を「排気筒(非常用ガス処理系)」に適正化しました。	2022/2/28	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
91	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.172,173	表4-1, 4-2中に記載の弁名称について、記載を統一するため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)第1弁(ウェットウェルベントライン)操作位置 第1弁(ドライウェルベントライン)操作位置 (新)第1弁(サブプレッションチェンバ側)操作位置 第1弁(ドライウェル側)操作位置	2022/2/28	
92	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.177,178	図1-2, 1-2, 1-3中に記載の弁名称及び図タイトルについて、記載を統一するため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)第1弁(ウェットウェルベントライン) 第1弁(ドライウェルベントライン) 図1-1 第1弁(ウェットウェルベントライン)… 図1-2 第1弁(ウェットウェルベントライン)… 図1-3 第1弁(ドライウェルベントライン)… (新)第1弁(サブプレッションチェンバ側) 第1弁(ドライウェル側) 図1-1 第1弁(サブプレッションチェンバ側)… 図1-2 第1弁(サブプレッションチェンバ側)… 図1-3 第1弁(ドライウェル側)…	2022/2/28	
93	NS2-添1-067	VI-1-8-1-別添 3 格納容器フィルタベント系の設計	P.182~186	図3-1~図3-4について、「VI-1-7-3 中央制御室の居住性に関する説明書」に記載している図と整合させるため、差し替えました。	2022/2/28	